

## 梅田純子助教が「中国政府による日本の大学若手研究者等の招へいプログラム」 に学内からの推薦を受けて参加します

日程： 平成28年10月9日（日）～10月15日（土）

内容： 中国の大学及び研究機関の研究者、関連省庁関係者との意見交換、  
中国の科学技術施設、関連企業の訪問、北京及び地方都市の見学等。

「中国政府による日本の大学若手研究者等の招へいプログラム」について

国立研究開発法人 科学技術振興機構  
中国総合研究交流センター

当機構では、平成26年度より、「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン（SSP）」を進めております。これは、中国を含むアジアの青少年を短期に我が国に招へいし、科学技術の分野で我が国の関係者との交流を進めてもらおうというものです。

本事業は、中国政府のみならず、中国各地の大学及び研究機関から歓迎され、様々な日中関係が厳しい中、最も効果的な日中間の人的交流の活動の一つとして高く評価されました。

このような状況の中で、SSPの中国側取りまとめ機関である中国科学技術部は、SSPが日中間の科学技術交流を促進するのみならず、アジアの発展に貢献する極めて有意義な交流活動であると認め、本年100万人民元の予算を用意し、日本の科学技術に携わる関係者を中国に招へいするプログラムが作られました。

このプログラムでは、日中間の若手行政官や大学研究者等の相互理解とネットワーク構築のために、中国政府各省庁及び関係大学・研究機関の若手研究者等を集めて、訪中団の方々と多くの意見交換の場を設ける予定とのことです。緊密な接触により、互いによく理解し合い、信頼関係を築き、今後の連携につなげていくことが期待されています。また、中国政府の手配により最先端の科学技術現場の見学が予定されるとともに、北京のみならず地方の見学により、中国の科学技術やイノベーションの現状を知る機会ともなります。中国の大学及び研究機関の研究・教育現状、社会問題、経済状況などを実感できる絶好な機会になると期待されます。

\*当研究所では今年度さくらサイエンスプラン「共同研究コース」で10名を受け入れました。